

陶芸の森（陶芸館、創作研修館）

所在地	甲賀郡信楽町勅使 2 1 8 8 - 7 上丹生水口町宮の前（現：甲賀市）		
構造規模	（陶芸館）R C造地上 2 階	構造規模	（創作研修館）R C造地上 1 階
延床面積	（陶芸館）2, 3 3 4 . 4 5 m ²	延床面積	（創作研修館）2, 8 5 2 . 4 3 m ²
工期	平成元年 3 月～平成 2 年 3 月		
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



日本六古窯のひとつである信楽は、伝統的な焼き物の生産地として日常生活用品から高級工芸品に至るまで数々の焼き物を生産してきた。

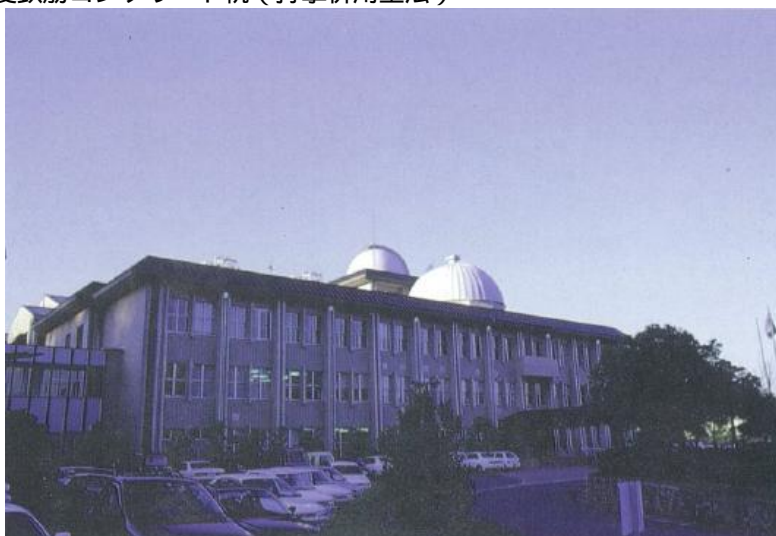
『陶芸の森』は、今日の文化、産業の変化の中で、新しいローカルデザインの創造と信楽焼の産地の発展を担う情報の発信基地として企画された。

陶芸館は、陶器の芸術的造形面に深く関わることにより、信楽の作家、窯業関係者に影響を与えるとともに、県内外に多様な信楽焼を紹介することを目的としており、創作研修館は、世界各地から研修生が集い、交流を通じて広く世界に信楽を紹介し、信楽における新しいローカルデザインの創造の一助となることを目的としている。陶芸、陶器に関心のある多くの来館者を含め、全国を始め国外からの陶芸家の研修に広く活用されている。

各施設は陶器にちなんだ円形の組み合わせや、登り窯のイメージによって親しみやすくシンボリックな形態とするとともに、地元信楽焼のタイルを中心とした地場製品を積極的に利用した。

滋賀県総合教育センター

所在地	野洲郡野洲町北桜（現：野洲市）	延床面積	3, 6 2 6 . 1 7 m ²
構造規模	R C造地上 4 階	工期	昭和 63 年 7 月～平成元年 3 月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



当施設は、昭和 46 年に教育の研究、教職員の研修機関として建設されたが、新しい教育分野の変革と複雑化した教育環境の研究の多様化に伴い施設の拡大と機能改心が必要とされたことから、既存の施設の一部改修を行うとともに増築により機能充実を図ったものである。

建物は希望ヶ丘文化公園に隣接する静かな環境の中で、既存建物のデザインを踏襲するとともに、新しい仕上げ素材を活用し、研究機関として明るい雰囲気仕上げた。

北大津高等学校セミナーハウス

所在地
構造規模
基礎地業

大津市仰木の里一丁目23-1

S造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）

延床面積 499.52㎡

工期 昭和63年9月～平成元年3月



昭和60年に住宅団地の一角に新設された北大津高等学校の附属施設で、課外活動の場として、またクラブ活動の合宿所として建設したものである。

農業試験場生物学加工研究棟

所在地
構造規模
基礎地業

蒲生郡安土町大中516(現:近江八幡市)

R C造地上1階

既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,097.13㎡

工期 昭和63年10年～平成元年3月



当施設は、農業試験場の付属施設として生物学棟と加工指導センターから構成された建物で、生物学棟は新しい農業技術のバイオテクノロジーに関する試験研究機関として、また加工指導センターは農産物の加工によって付加価値を与えることを、野菜農家をはじめ一般に普及する指導機関として設けられたものである。

建物は農業試験場の正面の離れた位置に建設され、寄棟の落ち着いた雰囲気で仕上げられている。

内部は、広い加工指導センター作業空間とハイテクを駆使した研究機関が機能的に配置されており、特殊な設備として太陽光を自動追跡し取り入れる装置のほか、バイオ研究に必要とされるクリーンルーム等、時代の先端の設備が設けられ、滋賀の新しい農業を支援している。

ミシガン州立大学日本センター

所在地
構造規模
基礎地業

彦根市松原町網代口1435-86

延床面積 2,651.28㎡

R C造、S造地上2階

工期 平成元年9月～平成2年6月

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）



当施設は、滋賀県が国際交流により姉妹提携しているミシガン州の留学生が、日本における文化、歴史、語学を学び、また、日本の大学生と交流する施設として建設したものである。

建物は、日本の文化をイメージ付けした緑青銅板の瓦葺き和風入母屋づくりとし、外部には日本庭園を配置しているほか、内部の仕上げにも随所に日本古来の建築文化を駆使したものとなっている。

長浜ドーム

所在地
構造規模
基礎地業

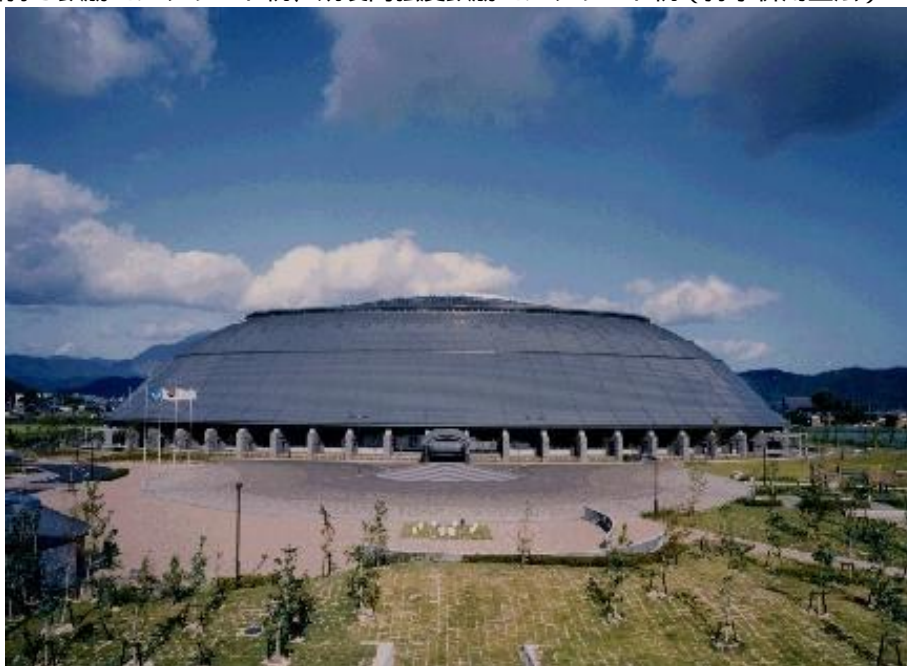
長浜市田村町1320

延床面積 15,112.92㎡

R C造、S造地上2階

工期 平成元年12月～平成4年3月

場所打ち鉄筋コンクリート杭、既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）



当施設は、冬期間厳しい環境にある湖北地域のスポーツ振興のための施設として設けられたもので、通常の室外運動競技を行うことができるほか、スポーツ以外の集会、産業展示等、その利用範囲は多岐にわたっている。

滋賀県でも初めてのドーム建築であり、積雪に耐えるためステンレス鋼板の縦はげ葺きで二段のドーム状になっており、屋根面の雪の落下にも建物外周に融雪溝を設け処理できるようになっている。内部はアリーナ床面を人工芝で仕上げ、多用途に対応できるものとなっている。

草津養護学校

所在地	草津市南笠町字水呑	延床面積	8,596.06㎡
構造規模	R C造地上2階	工期	平成2年3月～平成3年3月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



当施設は、大津湖南地域の養護教育施設として草津南部の福祉ゾーンに設けられたもので、隣接の第一びわこ学園、障害者福祉センター等、福祉関係施設に囲まれ、また周辺環境も丘陵地の自然と縁に囲まれた静かな場所に設けられた。

建物は、教室棟と体育館、管理棟で構成され、勾配屋根と妻面のコンクリート型枠打ち込みレリーフで和らぎを持たせており、腰壁もアースカラーのタイルで仕上げられている。

各室は可能な限り南面に明るく開けた配置がとれるようにし、また、生徒の日常生活に負担とならない配慮もなされている。

近江高等技術専門校

所在地	坂田郡近江町岩脇411-1(現:米原市)	延床面積	5,070.17㎡
構造規模	R C造、S造地上3階	工期	平成2年3月～平成3年2月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



職業技術教育施設として産業界へ若い技術者を送るために設立された新しい時代の生産技術について訓練指導を行うための施設である。

建物は、新しい技術をイメージさせる外観となっており、学習の場として明るい雰囲気でも過ごすことができるように、中庭空間を持つなどの工夫をしている。

朽木いきものふれあいの里

所在地	高島郡朽木村（現：高島市）	延床面積	999.70㎡
構造規模	S造地上2階	工期	平成2年3月～平成2年11月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



当施設は、滋賀県の豊富な自然環境の中で動植物がどのように生活しているか、自然環境との共生を実体験する事により学習できる施設として、朽木の山あいの地に建設されたものである。

建物は、周りの自然環境にあわせて勾配屋根を施し、壁面を深く後退させたものとし、内部も極力自然素材を用いて仕上げており、展示物を自然の雰囲気の中で鑑賞できるように配慮されている。

大津合同庁舎

所在地	大津市松本一丁目	延床面積	11,186.86㎡
構造規模	SRC造地上7階地下1階	工期	平成2年7月～平成4年3月
基礎地業	場所打ち鉄筋コンクリート杭（拡底工法） 既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



この建物は、大津市内における県の出先機関のための合同庁舎として、旧打出中学校の跡地に建設したもので、来庁者用駐車場と併せて整備された。出先機関としては、県税事務所、大津土木事務所があり、その他各公社と県庁舎の一部としての会議室が配され、県庁施設群の中でもなくてはならない存在となっている。

建物は公共建築の風格を待ったデザインが採用されており、外観は県庁新館と同様のイメージを待ったものとしている。

また、工事時には地下水の湧出に悩まされたが、関係者の尽力により解決をみた。

自動車税事務所

所在地	守山市木浜町2298-2	延床面積	1,181.89㎡
構造規模	R C造地上2階	工期	平成2年7月～平成3年3月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



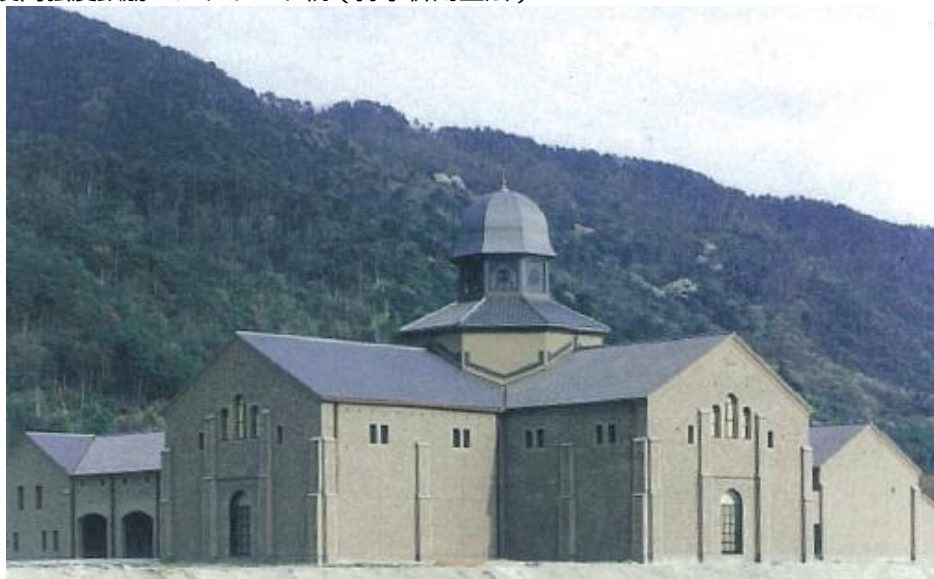
当施設は、自動車にかかる県の徴税機関であるが、関係機関の移転にあわせ大津市にあった旧事務所から移転したものである。

設計にあたっては、関係庁舎間の配置計画等に協議を重ねながら、来所者の流れに沿った建物計画を行った。

外観は小規模ながら公共建築としての品位を持たせるため、切り妻の屋根と外壁の信楽焼タイルでまとめ、内部はカウンターを設置し、トップライトをとるなど明るい雰囲気となっている。

安土城考古博物館

所在地	蒲生郡安土町下豊浦6678（現：近江八幡市）	延床面積	5,846.23㎡
構造規模	R C造、S造地上2階	工期	平成2年10月～平成4年3月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



当施設は、県内の文化財の発掘調査、整理、展示機能をあわせ持つ地域性のある博物館として、また、周囲の歴史環境と一体となった施設として、近江風土記の丘に建設されたものである。

建物は、外観を安土の風土にマッチした素朴な材料で質感を生かした仕上げとし、高さ30メートルの望楼をシンボルとしている。平面計画としては、中央部に中庭を設けた口の字型の回廊を配し、回遊しながら展示室や整理室等の作業風景等を見学できるように配慮されている。

内部は、各展示室を曲面天井の高い空間とし、光の取り入れ方も間接照明により柔らかなものにまとめられている。

県立びわ湖こどもの国（虹の家）

所在地
構造規模
基礎地業

高島郡安曇川町北船木（現：高島市）

R C造、S造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）

延床面積 5,542.53㎡

工期 平成2年12月～平成4年5月



当施設は、湖西安曇川河口の琵琶湖畔に建設された、子供のための宿泊学習施設である。

建物全体の平面計画は円形となっており、様々な催しができるフォーラムが中央に設けられ、その周囲に観覧席をすり鉢状に配置している。観覧席に沿った2階に宿泊室を設け、屋上の天体観測室と連絡している部屋もある。

建物の外観は、型枠コンクリートブロックと打ち放しコンクリートで円形壁面を構成し、大屋根はフォーラムへの採光を取るため三角状にし、建物全体を特徴付けている。

県立彦根球場

所在地
構造規模
基礎地業

彦根市松原町3028

R C造、S造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 10,170.15㎡

工期 平成3年3月～平成4年3月



当施設は、彦根総合運動場の一角にあった旧施設を全面改築したもので、高等学校野球大会をはじめ、社会人等の公式試合等に活用し、県民スポーツの活性化を促すことを目的として整備されたものである。

運動公園の施設として、他の競技施設と関連して利用できるように、運動団体の事務室の他、野球の試合に関連する諸室をメインスタンドの下に配置している。

また、夕方以降の使用が可能ないように大型照明灯を備えている。

県立武道館

所在地	大津市におの浜四丁目2 - 15	延床面積	10,691.97㎡
構造規模	R C造地上5階	工期	平成3年7月～平成5年3月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）		



当施設は、武道にかかる全国大会、ブロック大会、県レベルの各種大会、日常の練習、武道教室等を通じて日本武道の伝承と振興を図ることを目的とし、県内の武道に関連する中核施設として建設されたものである。

敷地の制限から諸室を多層に配置することとし、1階には相撲場、管理諸室および駐車場、2、3階には柔道場と弓道場、3、4階に剣道場と観覧席をそれぞれ設けている。建物は、武道がイメージされる蔵造りとし、日本瓦と白壁でまとめられた。また、建設地が琵琶湖岸に面しており、湖面を反射するミラーガラスも外観のアクセントとなっている。

精神保健総合センター

所在地	草津市南笠町深谷66	延床面積	7,865.70㎡
構造規模	R C造、SRC造地上2階	工期	平成2年12月～平成4年3月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭		



当施設は、精神障害の予防から治療、社会復帰までの一貫した精神保健サービスの拠点として、福祉ゾーンの一部に建設された。

建物は、周りの山並みを建物に連動させる勾配屋根の連続でまとめ、外壁はやさしい色の二丁掛タイルとし、バルコニーや出窓で変化を持たせている。

玄関を入ると、大きな吹き抜けと中庭の見える待合いスペースがあり、全休にゆったりとした落ち着きのある環境造りを心がけている。

広域林構休養休憩施設（ふるさと館）

所在地
構造規模
基礎地業

野洲郡野洲町北桜（現：野洲市）
W造地上2階
直接基礎

延床面積 861.96㎡
工期 平成3年8月～平成4年3月



当施設は、林業が多くの人々に理解され、広く木材の利用が図られるための広報啓発施設として設けられたものである。

建物は、三上山の麓にあって緑の森を背景とした場所にあり、木造であたたかい雰囲気のものとなっている。

内部は、紙漉き、草木染めなどを体験できるコーナーや、機織りの模様など、林業に関わる展示を中心にし、休養施設としては、木製浴槽を備えた浴室や、入浴の後の休憩、簡易な宿泊等、多様な利用が可能である。また、内装仕上げについても、林業に関係する素材を多く使用している。

水環境センター（水環境科学館）

所在地
構造規模
基礎地業

草津市矢橋町字帰帆2108
RC造、S造地上3階
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 3,482.13㎡
工期 平成3年10月～平成5年1月



当施設は、県内の下水道事業の推進を図り、琵琶湖の水環境を守ることにについて、県民をはじめ近畿の人々を中心に理解を深めてもらう事を目的に建設され、下水道の仕組み、水環境改善と県民の努力の歴史を各種展示によって学習することができ、付属施設として食堂、休憩、入浴の各設備を設けている。

瀬田川河口の広域下水処理施設に隣接した人工島の中にあつて、緑に囲まれた環境にあり、建物も矢橋の帰帆をイメージした帆柱と船の窓がバランスよく構成された建物となっている。

内部には、陶器で作られた『花の塔』が据えられ、展示物も単に見るだけでなく触れることが出来るものや操作によって水の動きを学習できるものなどバラエティに富んでいる。

累計100万人を越える方々にご利用いただきましたが、平成23年3月をもって閉館となりました。

長寿社会福祉センター（レイカディアセンター）

所在地
構造規模
基礎地業

草津市南笠町新池110-1

R C造、S造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）

延床面積 6,234.71㎡

工期 平成3年12月～平成5年3月



当施設は、滋賀県が長寿社会構想において住みやすい環境を造るために、あらゆる施策を展開する拠点施設として建設されたものである。ちなみにレイカディアとは、琵琶湖のレイク、理想郷のアルカディアからなる造語である。

建物は、理想郷の城となるようにイメージし、丸屋根と尖塔で構成され、池を挟んだ回廊が建物に格調とゆとりを持たせたものとなっている。

玄関を入るとゆったりとした吹抜けの空間があり、来館者の休息の場になっている。また、大きな集会、講演公等にはホールが設けられており、小会議室等とともに活用されている。

滋賀県公館・知事公舎

所在地
構造規模
基礎地業

大津市京町四丁目2-1

R C造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 905.82㎡

工期 平成4年3月～平成5年3月



旧施設の老朽化と公館機能の多様化に伴い、県庁舎に接した現敷地で全面改築されたもので、隣接庁舎群とはケヤキなどの樹木で隔てられた静かな環境の中にある。

建物は、公館の機能と公舎のつながりに配慮しながら、限られた敷地の中で配置計計画し、さらに静かな庭園の空間が建物の各部屋と一体になるように気が配られている。公館の主要室である応接室は、その利用用途も多岐にわたるため、和洋それぞれの様式を準備し、ともに格調ある仕上げとしている。

外観は、木立の中に溶け込んだ勾配屋根と、白壁を模した信楽焼タイルで仕上げている。

殿町（長浜）県営住宅

所在地
構造規模
基礎地業

長浜市殿町173

延床面積 1,774.46㎡

R C造地上4階

工期

既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）



県の第六期住宅建設五箇年計画に基づき、湖北地域の住宅対策として、新たに敷地を確保して建設されたものである。

第1期として、2DK 8戸、3DK 16戸を施工しており、そのうち1戸は、住宅内の床の段差を3mm以下とし、浴室、便所には手摺を設けたほか、ワイドスイッチ、レバーハンドルの採用など高齢化対応住宅設計仕様を採り入れ、高齢者が住みやすいように配慮されている。

また、妻側壁面には、建設地長浜にゆかりのある千成瓢箪をデザインしたレリーフが、コンクリート打ち込みで飾られている。

UNEP国際環境技術センター（IETC滋賀事務所）

所在地
構造規模
基礎地業

草津市下物町烏丸地先

延床面積 3,017.69㎡

R C造地上2階

工期 平成5年7月～平成7年3月

既製高強度鉄筋コンクリート杭



当施設は、滋賀県が、UNEP（国連環境計画）の「淡水湖沼とその流域の管理」を中心に活動する施設として建設したものである。

建物も施設の目的を反映して「環境融和型建築」を目指し、熱や光などの外的負荷を建築的に制御するため、断熱材の活用や修景木の配置などで対応し、また、エネルギーの消費を抑えるために太陽熱、地中熱等の自然エネルギーの積極的活用を図っている。

外観は、隣接して建設される琵琶湖博物館とのデザイン上の整合を図り、格調の高い風格を持ったものとなっている。

平成23年4月1日、UNEP IETCの2つの事務所（大阪及び滋賀）のうち、滋賀事務所が閉鎖され同日付で大阪事務所に統合された。

動物保護管理センター啓発施設

所在地
構造規模
基礎地業

甲賀郡甲西町岩根136-98(現:湖南市)
RC造、S造地上1階
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 510.33㎡
工期 平成4年5月~平成5年2月



当施設は、県民に動物愛護の啓発を行うとともに、ペット動物類の適正な飼育を指導することをはじめ、野犬や不要になったペットなどを保護するため、昭和57年に建設されたもので、新しい需要の変化と子供を中心にした啓発の拡大を狙って、小動物に触れあえる施設として再整備された。

敷地は、啓発センター等を中心に法面を整備したもので周囲の森林につながった状態の環境にあり、建物も小規模ながら子供達が楽しく遊ぶ中で、動物達と触れあえるように計画されている。

琵琶湖博物館

所在地
構造規模
基礎地業

草津市下物町1091
RC造、S造地上2階地下1階
既製高強度鉄筋コンクリート杭(打撃併用工法)

延床面積 23,987.06㎡
工期 平成6年1月~平成8年3月



この施設は、琵琶湖と共に歩んできた先人の心を未来に引き継ぐ「新しい淡海文化の創造の拠点」として、また環境立県にふさわしい「環境博物館」として建設されたものである。

館内は、企画展示から一般展示を経て、琵琶湖のほか世界の淡水魚を集めた水族展示へ一連の見学コースで学習できるよう計画されている。琵琶湖に臨む風景を建物に取り入れられるように、ロビー湖側は大きなガラス面で外部と隔てられ、来館者の見学前の期待を高める工夫をしている。

建物には環境への配慮が随所に施され、敷地内の雨水を集めた中水利用をはじめ、建物の熱負荷を抑える断熱材の使用、太陽熱を利用するソーラーシステムの設置等の工夫がなされている。

また建物の外部修景も展示につながるものとして整備されており、将来は自然の森に囲まれた建物となる予定である。